

日本労務学会 第51回全国大会プログラム

〈統一テーマ〉

日本の人事労務研究の将来展望

日 時：2021年7月16日（金）～7月18日（日）

開催校：神戸大学（六甲台キャンパス）

（大会日程概要）

7月16日（金）	
16:00～18:40	研究企画（1） 小池和男氏の理論と調査手法への学際的接近
7月17日（土）	
09:10～09:30	開会式および大会実行委員長基調報告 日本労務学会設立50年：これまで何が論じられてきたのか
09:40～11:50	自由論題報告（A セッション）
12:40～14:50	自由論題報告（B セッション）
15:00～17:00	会員総会（理事選挙を含む）および学会賞受賞者講演
17:10～19:30	特別シンポジウム 日本の人事労務研究の将来展望
19:40～21:00	懇親会
7月18日（日）	
09:50～12:00	自由論題報告（C セッション）
13:00～15:40	研究企画（2） 創造的回顧ふたたび：日本における人事・労務研究の50年

※全ての項目を、ビデオ会議システムを用いたオンライン形式で行う。

● 過去資料提供のお願い ●

日本労務学会は、これまでの学会の歩みに関する過去資料を収集しております。会員の皆様のお手元にご提供いただける資料がございましたら、日本労務学会リエゾンオフィス（jshrm@ibi-japan.co.jp）までご一報ください。貴重な資料の取り扱いにつきましては、適宜ご相談させていただきます。

7月16日（金）

神戸大学六甲台キャンパス

16:00～18:40 研究企画（1）

小池和男氏の理論と調査手法への学際的接近

【概要】

知的熟練などに代表されるいわゆる小池理論や小池氏の調査手法は、後続する労働経済学、キャリア（学習）論、経営学、労働社会学、そして労働調査に多大な影響を与えました。その後、それぞれの領域で研究が蓄積される中で、小池研究・手法はどのような位置づけで発展したのかあるいはどのような批判を受けたのかについて、学際的な検討・議論を行います。

【登壇者（五十音順）】

青木宏之（香川大学）
中川宗人（青森公立大学）
庭本佳子（神戸大学）
平尾智隆（摂南大学）
松尾 睦（北海道大学）

【司会】

田中秀樹（同志社大学／プログラム委員）

7月17日（土）

神戸大学六甲台キャンパス

09:40～11:50 自由論題報告：報告25分、コメント5分、質疑10分

A-1 セッション マクロ HRM

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
09:40 ～10:20	松山一紀 (同志社大学)	三浦友里恵 (一橋大学大学院)	M&A における人的資源管理研究のレビュー	櫻井雅充 (中京大学)
10:25 ～11:05		藤澤理恵 (リクルートマネジメント ソリューションズ) 藤村直子 (リクルートマネジメント ソリューションズ) 西村孝史 (東京都立大学)	柔軟性志向の HRM がコロナ禍における組織 のレジリエンスに与える影響	松山一紀 (同志社大学)
11:10 ～11:50		高橋冬馬 (東北大学大学院)	地方中小零細企業の人的資源管理における研 究可能性：社会的な人的資源管理モデルの構 築を目指して	櫻井雅充 (中京大学)

A-2 セッション キャリア

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:25 ～11:05	鈴木竜太 (神戸大学)	松原光代 (PwC コンサルティング)	自律的にキャリア形成する人材の育成に資する企業の能力開発支援	藤本 真 (労働政策研究・研修機構)
11:10 ～11:50		中 寛 剛 (千葉経済大学)	新規学卒者の「とりあえず正社員志向」の多次元構造の検討	鈴木竜太 (神戸大学)

A-3 セッション ニューウェーブ

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:25 ～11:05	石山恒貴 (法政大学)	柿沼英樹 (流通科学大学)	タレントマネジメント哲学の知覚と従業員態度の関係性に関する試論	大曾暢烈 (名古屋経済大学)
11:10 ～11:50		佐藤優介 (慶應義塾大学大学院) 羽生琢哉 (慶應義塾大学大学院)	DX (デジタルトランスフォーメーション) 推進に関する新規尺度の検討: DX 推進度を高める「組織」「人材」要件	石山恒貴 (法政大学)

A-4 セッション ワークライフバランス

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
09:40 ～10:20	千田直毅 (神戸学院大学)	奥野明子 (甲南大学) 大内章子 (関西学院大学) 奥井めぐみ (金沢学院大学)	仕事配分と人事評価が産休・育休からの復職者の仕事意欲に与える影響	井川静恵 (帝塚山大学)
10:25 ～11:05		車田絵里子 (関西学院大学大学院)	登用比からみた女性活躍推進の進展に係る一考察:「女性の活躍推進企業データベース」を用いて	井川静恵 (帝塚山大学)
11:10 ～11:50		岡嶋裕子 (大阪大学)	個人追跡データによるワークイベントとライフイベントを考慮した労働意欲に関する分析	千田直毅 (神戸学院大学)

12:40～14:50 自由論題報告: 報告 25 分、コメント 5 分、質疑 10 分

B-1 会場 ダイバーシティ

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
12:40 ～13:20	池田心豪 (労働政策研究・研修機構)	山本 華 (横浜国立大学大学院)	就労困難性を持つ人材のインクルージョン: マネージャー・従業員への聴き取りによる質的分析	眞保智子 (法政大学)
13:25 ～14:05		丸山 峻 (一橋大学大学院)	障害者マネジメント研究の知見の整理と展望	眞保智子 (法政大学)
14:10 ～14:50		中川有紀子 (慶應義塾大学)	メンバー全員の能力を発揮させるための多様性&インクルーシブな組織マネジメント: ドイツ・スイスの多国籍企業聞き取り調査からの示唆	池田心豪 (労働政策研究・研修機構)

B-2 セッション 新型コロナ

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
13:25 ～14:05	風神佐知子 (慶応義塾大学)	金 明中 (ニッセイ基礎研究所)	新型コロナウイルスが企業の人事・労務管理に与えた影響とテレワーク実施の決定要因に対する分析	小林 徹 (高崎経済大学)
14:10 ～14:50		池田梨恵子 (同志社大学大学院)	緊急事態宣言下におけるテレワーク勤務を行う女性のワークライフバランス：オンラインインタビュー調査を通じて	風神佐知子 (慶応義塾大学)

B-3 セッション 国際人的資源管理

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
12:40 ～13:20	山内麻里 (国際教養大学)	俞 成華 (公立鳥取環境大学)	マレーシアにおける日系企業の人材マネジメント：日系3社の事例を中心に	塗茂克也 (千葉経済大学)
13:25 ～14:05		大嶋淳俊 (宮城大学)	海外経営幹部研修の実践と評価	山内麻里 (国際教養大学)
14:10 ～14:50		辻塚秀幸 (創価大学大学院)	企業による適切な労働基準の自主的な遵守に向けた、ステークホルダーとの協働アプローチの展開：ミャンマーにおける取り組みについて	塗茂克也 (千葉経済大学)

B-4 セッション 組織行動の各論 (1)

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
12:40 ～13:20	開本浩矢 (大阪大学)	藤曲亜樹子 (日本ユニシス)	組織構成員の自己認識力を高める行動と職場環境に関する考察	古田克利 (立命館大学)
13:25 ～14:05		杉田美調 (大正大学事業法人 ティー・マップ)	大学教員の内発的モチベーションを促進する要因：活動間の独立性に着目して	開本浩矢 (大阪大学)
14:10 ～14:50		中島智子 (兵庫県立大学大学院)	リアリティ・ショックによる離職意思に対する生活満足の影響	古田克利 (立命館大学)

B-5 セッション 内部労働市場の経済分析

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
12:40 ～13:20	富田安信 (同志社大学)	田上皓大 (慶応義塾大学大学院)	勤続に伴う労働時間の個人内変化：KHPS を用いた人的資本モデルとエージェンシーモデルの検証	富田安信 (同志社大学)
13:25 ～14:05		柿澤寿信 (大阪大学)	職場公正性の価値評価：生活満足度アプローチによる推計	上原克仁 (静岡県立大学)
14:10 ～14:50		奥井めぐみ (金沢学院大学)	仕事満足度決定要因に関する実証分析：女性の仕事満足度が男性よりも高い理由を探る	上原克仁 (静岡県立大学)

15:00～17:00 会員総会（理事選挙を含む）および学会賞受賞者講演

17:10～19:30 特別シンポジウム

日本の人事労務研究の将来展望

【概要】

このシンポジウムでは、企業内の管理施策（ミクロ）、労使関係（メゾ）、社会システム／制度的環境（マクロ）といった様々な視角に立った、日本の人事労務に関するこれまでの研究が、何を描き、そして描ききれなかったのかについて振り返ります。その上で、個人あるいは学会全体でどのような研究が望まれるのかについて、大所高所に立ちつつも自由な議論を行います。

【登壇者（報告順）】

守島基博（学習院大学）

久本憲夫（京都橋大学）

ヒュー・ウィッタカー（オックスフォード大学）

【司会】

江夏幾多郎（神戸大学／プログラム委員）

7月18日（日）

神戸大学六甲台キャンパス

09:50～12:00 自由論題報告：報告25分、コメント5分、質疑10分

C-1 セッション 公的組織

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
09:50 ～10:30	太田 肇 (同志社大学)	米岡秀真 (山口大学)	公共組織における新たな人事管理の導入とその影響	太田 肇 (同志社大学)
10:35 ～11:15		小川顕正 (京都先端科学大学) 跡田直澄 (京都先端科学大学)	地方公務員の職員満足度に関する実証分析	久米功一 (東洋大学)
11:20 ～12:00		川村一真 (山口大学)	戦中の地方公務員の学歴と処遇	久米功一 (東洋大学)

C-2 セッション 雇用制度

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:35 ～11:15	松繁寿和 (大阪大学)	長濱康之 (中央大学大学院)	日本の製造業における外国人労働者の技能形成：「知的熟練論」の観点からみたその変遷と課題の検証～	松繁寿和 (大阪大学)
11:20 ～12:00		八代充史 (慶應義塾大学)	転職と雇用制度：米系大手多国籍企業日本法人勤務経験者のインタビューを通じて	林 嶺那 (福島大学)

C-3 セッション 組織行動の各論 (2)

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
9:50 ～10:30	佐藤佑樹 (流通経済大学)	高階利徳 (兵庫県立大学) 開本浩矢 (大阪大学)	上司行動が従業員のリテンションと職場内外での行動に与える影響	佐藤佑樹 (流通経済大学)
10:35 ～11:15		今村仁美 (北九州市立大学大学院) 高橋秀直 (北九州市立大学) 鳥取部真己 (北九州市立大学)	中小企業 A 社における人材マネジメントと上司のフィードバックが従業員へ与える影響	岸野早希 (九州大学)
11:20 ～12:00		辺見佳奈子 (大阪商業大学)	女性起業家におけるサイコロジカル・キャピタルの向上過程に関する質的研究	岸野早希 (九州大学)

C-4 セッション 知識と労働

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:35 ～11:15	森永雄太 (武蔵大学)	三輪卓己 (桃山学院大学)	知識労働と感情労働の同時遂行が労働者に与える影響	森永雄太 (武蔵大学)
11:20 ～12:00		Shin Hayoung (一橋大学) 鳥貫智行 (一橋大学)	従業員の向社会的モチベーションが知識共有および知識隠蔽に与える影響：動機の自律的・統制的側面の観点から	三崎秀央 (兵庫県立大学)

13:00～15:40 研究企画 (2)

創造的回顧ふたたび：日本における人事労務研究の 50 年

【概要】

このシンポジウムでは、50 周年に向けて設置されたレビュー研究会の報告を行います。学問領域ごとに人事労務研究史を振り返りつつ、人事・労務研究とは何か、我々はどこへ行くのかを考えます。2019 年には「創造的回顧」という報告会を行いました。今回は、その時の議論を踏まえて、ふたたび皆さんと未来の研究について議論を行いたいと思います。

【研究グループ（報告者は未定）】

これまでの研究会振り返り：白木三秀（早稲田大学）
 経済学：勇上和史（神戸大学）ほか
 心理学：坂爪洋美（法政大学）ほか
 経営学：江夏幾多郎（神戸大学）ほか
 社会学：池田心豪（労働政策研究・研修機構）ほか
 労働調査：梅崎 修（法政大学）ほか

【司会】

梅崎 修（法政大学／プログラム委員）